平成２９年度 山形県若者定着奨学金返還支援事業【産業団体等連携枠】

募 集 要 項

　山形県の産業界の将来を担う若者の県内回帰・定着を促進するため、卒業後に一定の要件を満たして県内の産業界に就業・定着した場合に、県と産業団体等が連携して奨学金の返還を支援する対象となる学生を募集します。

**１　募集対象者**

次の各号の要件の全てに該当する者を募集対象者とする。

（１）県内の高等学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程（以下「高校等」という。）を卒業した者 ※

（２）申請時において、日本国内に所在する次に掲げる高等教育機関（以下「大学等」という。）に在学中で、平成３１年３月以降に卒業予定の者

|  |
| --- |
| ア　大学院（修士課程又は博士課程前期に限る。）  イ　大学  ウ　高等専門学校（第４、５学年及び専攻科に限る。） ※  エ　短期大学（県内に所在するものに限る。）  オ　専修学校専門課程（県内に所在するものに限る。） |

※（２）のウに在学する者の場合は、（１）の要件については、山形県内の中学校又は特別支援学校中等部の卒業した者を含む。

（３）別表１に掲げる奨学金（以下「助成対象奨学金」という。）の貸与を受けている者

（４）大学等卒業後６か月以内に、別表２の産業分野（以下「助成対象分野」という。）ごとに記載のある事業者（以下「指定就業先」という。）に就業することを希望し、かつ３年間以上継続して就業する見込みの者（但し、パート・アルバイト等臨時的・期間的な就業の者若しくは公務員、医師、看護師、介護福祉士又は保育士として就業する者を除く｡）

（５）大学等卒業後６か月以内に山形県内に居住し、かつ３年間以上継続する見込みの者

（６）申請時点において、次の各号のいずれにも該当しない者

ア　この事業により返還支援を受けようとする助成対象奨学金について、既に、山形県若者定着奨学金返還支援事業（産業団体連携枠以外の募集枠も含む。）の助成候補者の認定を受けている又は申請中である者

イ　この事業により返還支援を受けようとする助成対象奨学金について、本事業以外の支援制度による返還支援や返還額の減額、免除等を受ける予定がある者

**２　募集人数**　　２４人程度

**３　募集スケジュール及び応募方法**

（１）募集スケジュール

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 募集開始日 | 募集締切日時 | 採択決定(予定) | 備　考 |
| 平成30年  1月17日(水) | 【１次締切】  平成30年2月20日(火)  17時必着 | 【１次認定】  平成30年3月上旬 | １次締切までの応募者の中から１次採択者を決定し、その結果、採択枠に余裕があった場合に、１次締切後、２次締切までの応募者の中から２次採択者を決定する。  １次採択で募集人数に達した場合は、２次採択は実施しない。 |
| 【２次締切】  平成30年3月27日(火)  17時必着 | 【２次認定】  平成30年4月上旬 |

（２）応募（持参または郵送）先

　　　〒990-8570 山形県山形市松波二丁目８番１号 （山形県庁８階）

　　　山形県 商工労働部 産業政策課地域産業振興室

（３）応募書類

次に掲げる書類を各２部（原本及び写し）提出すること。なお、応募書類は返却しない。

ア　助成候補者認定申請書（別紙様式１）

イ　助成候補者エントリーシート（別紙様式２）

ウ　大学等の在学状況を証明する書類（在学証明書、学生証の写し等）

エ　助成対象奨学金の貸与を証明する書類（貸与決定の通知書、奨学生証の写し等）

**４　助成候補者の認定**

県は、審査の上、適当と認められる場合、助成候補者に認定し、その旨を文書により通知する。

応募者多数の場合又は審査により不適当となった場合には、助成候補者に認定されない場合がある。

また、選考にあたっては、申請書類を指定就業先の事業者に示して、意見を求める場合がある。本事業に申請した者は、このことを了承したものとみなす。

**※助成候補者の認定は、各事業者の採用決定ではない。採用決定は、各事業者の採用選考の結果による。**

**５　助成候補者の責務及び認定の取消し**

助成候補者は、認定を受けた助成対象分野の指定事業者が人材採用のために実施する広報活動（企業説明会等）及び選考活動（採用試験、面接等）に積極的に参加することとする。

また、以下の事由に該当した場合は、助成候補者の認定が取消しとなる。

ア　奨学金の貸与が取り消された場合

イ　奨学金の返還が免除された場合

ウ　助成候補者がその認定を辞退する場合

エ　助成候補者が、認定を受けた助成対象分野の指定事業者が実施する選考活動に、正当な理由なく参加しなかった場合（指定事業者による選考活動が行われなかった場合及び指定事業者側の都合により参加できなかった場合等、助成候補者の責に帰すべきではない事由で参加できなかった場合を除く。）

オ　大学等卒業後６か月以内に県内に居住を開始しなかった場合※

カ　県内に居住後３年以内に県外へ転出した場合※

※オ及びカについては、就業先の事業者の人員配置等の都合により県内に居住することが困難な場合で、将来的に県内に居住することが予定されている場合を除く。

キ　大学等卒業後６か月（病気、けが等やむを得ない事情がある場合は１２か月）以内に県

内の助成対象分野に就業しなかった場合

ク　自己都合（病気、けが等やむを得ない事情による場合を除く。以下同じ。）により離職した場合

ケ　自己都合以外の理由又は病気、けが等やむを得ない事情による離職後、１２か月以内に県内の助成対象分野に就業しなかった場合

コ　卒業後に就業するまでの期間及びいったん就業した後、自己都合以外の理由又は病気、けが等やむを得ない事情により離職している期間が、通算して１２か月を超えた場合

**６　助成方法**

（１）助成対象者の認定

助成候補者が、大学等を卒業後６か月以内に県内に居住・就業し、かつ、県内の助成対象分野に通算して３年間就業した後に、申請により助成対象者として認定する。

（２）返還支援額

|  |  |
| --- | --- |
| 返　還　支　援　額 | 備　　考 |
| ①平成２９年４月１日以降に助成対象奨学金の貸与を受けた月数に２万６千円を乗じた額を上限とする｡  ②複数の奨学金の貸与を受けている場合でも、助成対象奨学金はそのうち一つの奨学金とする。  ③助成候補者の就業先が認定を受けた助成対象分野の指定就業先（別表２記載のとおり）と異なる場合、返還支援額は①の額の２分の１とする。  ④千円未満の端数は切り捨てとする｡ | ・助成金の交付申請時点で、助成対象奨学金の返還残額（有利子貸与奨学金の場合は利子分を除く｡）が左記の返還支援額を超えない場合は、返還残額を上限とする。※  ・返還減額又は返還期限猶予を受けている場合の返還残額は、減額又は猶予を受けていないものとして算出した額とする。  ※助成金交付以前に奨学金の繰上返還をした場合、返還支援額が減額になる場合がある。 |
|

（３）助成方法

　　　助成対象者からの申請に基づき、返還支援額を県が一括で本人に代わり助成対象奨学金の貸与機関に支払うこととする。助成対象者本人に対する支払いは行わない。

（４）助成対象者の認定の取消し

　　　次のいずれかに該当した場合は助成対象者の認定が取消しとなる。

ア　奨学金の返還が免除された場合

イ　助成対象者の認定申請時点で、奨学金返還を延滞している場合

**７　助成候補者認定後の手続**

（１）大学等就学中の手続

助成候補者の認定を受けた後、次の①又は②に該当した場合、その事実が発生してから３か月以内に、それぞれ必要な書類を県に提出することとする。

1. 氏名・住所・連絡先、就学先又は助成対象奨学金の内容が変更になった場合の提出書類

ア　状況報告書（別紙様式３）

イ　変更後の状況を証明する書類（学生証、奨学金の変更通知等）の写し

1. 大学等卒業後、更に進学した場合の提出書類

ア　在学期間延長承認申請書（別紙様式４）

イ　大学等の卒業証明書

ウ　進学先の在学証明書

（２）大学等卒業後、就業した場合の手続

　　　就業後、年度ごとにそれぞれ以下のとおり書類を県に提出することとする。

①提出書類

【就業開始年度】

ア　就業状況等報告書（別紙様式５）

イ　在職証明書（就業地、職種及び役職名がわかろもの）

ウ　住民票の写し

エ　助成対象奨学金の返還条件を確認できる書類（貸与奨学金返還確認票等）の写し

　　【２年目及び３年目】

ア　就業状況等報告書（別紙様式５）

イ　奨学金の返還状況を確認できる書類（奨学金返還証明書等）の写し

ウ　前年の確定申告書の写し（個人事業主として就業した場合のみ）

　　【就業期間が通算して３年を経過した時点】

ア　助成対象者認定申請書（様式は別途通知します。）

イ 在職証明書（３年間の就業期間及び就業地が確認できるもの）

ウ　住民票の写し

エ　奨学金の返還状況を確認できる書類（奨学金返還証明書等）の写し

　　②提出時期

ア　就業開始年度　　・・・就業後３か月以内

イ　２年目及び３年目・・・毎年９月３０日まで

ウ　就業後３年を経過した時点・・・３年経過後３か月以内

（３）大学等卒業後又は離職後、就業できない場合の手続き

自己都合以外の理由又は病気、けが等やむを得ない事情により、速やかに就業することができないことから、求職又は離職に要する期間の延長（最長１２か月まで）を希望する場合は、以下のとおり県に書類を提出することとする。

　　①提出書類

ア　求職・離職期間延長承認申請書（別紙様式６）

　　　イ　医師の診断書（病気、けが等の場合）

　　　ウ　住民票の写し（大学等卒業後、就業できない場合）

　　　エ　貸与奨学金返還確認票の写し（大学等卒業後、就業できない場合）

　　　オ　雇用保険被保険者離職票又は退職証明書等、退職年月日及び退職理由が確認できる書類

の写し（離職した場合）

　　②提出時期

　　　ア　大学等卒業後、就業できない場合・・・大学等卒業後６か月以内

　　　イ　離職した場合・・・離職後１か月以内

（４）助成候補者認定を辞退する場合の手続き

助成候補者認定を受けた後、認定を辞退する場合は、認定辞退申請書（別紙様式７）を県に提出することとする。

**必要な手続を行わない場合、助成金の交付を受けることができなくなることがあります。**

**助成候補者認定後、やむを得ず期限内に所定の手続ができない場合や提出が困難な書類がある場合等は、県の担当窓口に相談してください。**

**８　問合せ窓口**

山形県 商工労働部 産業政策課 地域産業振興室　　　電話番号 ０２３-６３０-２３６０

**別表１**助成対象奨学金

|  |  |
| --- | --- |
| 独立行政法人日本学生支援機構が貸与する奨学金 | 日本学生支援機構第一種奨学金  日本学生支援機構第二種奨学金 |
| 県内市町村が所管する奨学金 | 米沢有為会奨学金、 鶴岡市育英奨学金、 上山市奨学金  長井教育会奨学金、 東根育英会育英資金、 河北町育英会奨学金  西川町育英奨学金、 朝日町奨学金、 大江町ふるさと奨学金  金山町育英会奨学金、 最上町教育振興修学資金  最上町あすなろ修学資金、 大場育英基金  舟形町教育振興修学資金、 真室川町教育振興修学資金  大蔵村奨学金、 鮭川村教育振興修学資金  戸沢村教育振興修学資金、 飯豊町奨学資金 |

**別表２**助成対象分野及び指定就業先

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 助成対象分野 | 指定就業先（事業者） | 指定就業先の事業概要 | 各事業者  の採用  予定人数 | 指定就業先の求める人材 | 分野別の  助成候補者  募集人数 |
| ア | 建設、測量・設計関連分野 | **㈱三和技術コンサルタント**  （村山市楯岡二日町7-21） | 測量、土木設計、建築設計、用地調査補償、電気通信設計  [URL] http://www.sanwa-consul.co.jp/ | ２人 | 土木設計又は建築設計に関係の分野を専攻する学生 | １３人 |
| **㈱庄内測量設計舎**  （東田川郡庄内町余目字三人谷地69-9） | 社会資本整備に関する測量、土木設計、用地補償調査、地質・環境調査など  [URL] http://www.shonai.com/ | ２人 | 学部・専攻等に拘らず、幅広い人材を求めています。 |
| **㈱双葉建設コンサルタント**  （新庄市金沢字谷地田1399-11） | 公共土木に関する測量・設計・調査及び建築設計  [URL] http://www.futaba-c.co.jp/ | １人 | 土木工学を専攻の方をはじめ、幅広い分野の学生の皆さんをお待ちしています。（平成31年卒業予定者を優先） |
| **山形県建築協会 会員企業**  （賛助会員を除く。） | 建築施工、建築設計等  [URL] http://www.y-atom.jp/ (協会ＨＰ) | ３人 | 学部・専攻等に拘らず、幅広い人材を求めています。 |
| **山形県土地改良事業団体連合会**  （山形市松栄1-7-48） | 農業生産基盤と農村の生活環境に関する企画、調査、測量、設計など  [URL] http://www.sanae.or.jp/ | ３人 | 農学系(水土環境科学)又は工学系(土木、環境、建設工学等）ほか理工系の学生 |
| **㈱ヤマコン**  （山形市大字十文字字天神東770） | コンクリート圧送業・設備工事業  [URL] http://www.yamacon.jp/ | ２人 | 学部・専攻等に拘らず、幅広い人材を求めています。 |
| イ | ものづくり（製造業）関連分野 | **㈱カナック**  （米沢市窪田町窪田2464-6） | 各種精密部品製造・販売、並びに、工作機械及び工具販売  [URL] http://www.kanack1.com/ | １人 | ＮＣや汎用機等のオペレーターから、設計・管理を担うエンジニアをめざす方  （電気工学・機械工学専攻が望ましい。） | ５人 |
| **㈱スガサワ**  （寒河江市中央工業団地160-2） | 航空機器関連、油圧機器、ディーゼルエンジン機器等製造  [URL] http://www.sugasawa.com/ | ２人 | ものづくりに興味のある方  普通自動車免許取得（通勤のため） |
| **㈱山形機工**  （西村山郡河北町大字吉田735-1） | 大型製缶物･大型機械加工･産業機械生産ラインフレーム等の溶接、各種板金加工・各種部品加工  [URL] http http://www.ykiko.com/ | ２人 | 学部・専攻等に拘らず、幅広い人材を求めています。  ものづくりに興味のある方大歓迎です。 |
| ウ | ＩＴ、観光、商業・サービス関連分野 | 県内で左記のウからオの分野の事業を行う事業者 |  |  |  | ６人  程度  ウ～カ  の合計 |
| エ | 農林水産関連分野 |
| オ | 医療・福祉関連分野 |
| カ | その他の分野 | アからオ以外の分野の、県内に事業所を有する中核的な企業等 |

・各事業者の採用予定人数は、各事業者が本事業の対象として採用する人数であり、当該事業者が採用する人材の総数とは一致しない場合がある。

・ウ～カの分野の採択人数は、応募状況を踏まえて予算の範囲内で調整する。

別紙様式１

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成　　年　　月　　日

山形県知事　　　殿

山形県若者定着奨学金返還支援事業助成候補者認定申請書【産業団体等連携枠】

平成２９年度山形県若者定着奨学金返還支援事業【産業団体等連携枠】募集要項の規定に基づき、次のとおり申請します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請者 | ふりがな  氏名 |  | | | | | |
| 生年月日 | 平成　　年　　月　　日 | | | 性別 | | □男　□女 |
| 住所 | 〒 | | | | | |
| 電話番号 | 自宅 |  | 携帯 | |  | |
| ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  | | | | | |
| 保護者  ※申請者が20歳  以上の場合は記載不要 | ふりがな  氏名 |  | | | | | |
| 住所 | 〒 | | | | | |
| 電話番号 | 自宅 |  | 携帯 | |  | |
| 就学先  (大学等) | 名称 | （学校名)  （学部･学科等）　　　　　　　　　　　　　　　　(学年)　　　年 | | | | | |
| 所在地 |  | | | | | |
| 卒業予定年月 | 平成　　年　　　月 | | | | | |
| 助成対象  奨学金 | 奨学金の名称 |  | | | | | |
| 貸与月額 | 毎月　　　　　　　　円 | | | | | |
| 助成対象期間 | 平成　　年　　月～平成　　年　　月まで　○か月  ※平成29年4月以降の貸与期間 | | | | | |
| 貸与総額 | 円　※貸与月額×助成対象期間の月数 | | | | | |
| 就業希望分野  （○で囲む）  ※複数選択不可 | ア 建設、測量・設計関連分野  イ ものづくり（製造業）関連分野  ウ ＩＴ、観光、商業・サービス関連分野　　エ 農林水産関連分野  オ 医療・福祉関連分野　　カ その他の分野（具体的な業種：　　　　　　） | | | | | | |
| 申請情報の活用及び採用活動参加の同意 | １　私は、山形県が本事業の募集要項に記載された指定就業先に申請内容に関する情報を提供することに同意します。  ２　私は、助成候補者に認定された場合は、山形県や指定就業先から就職関係情報の提供を受けるとともに、指定就業先の事業者が実施する人材採用のための活動に積極的に参加します。  ３　私は、平成29年度山形県若者定着奨学金返還支援事業【産業団体等連携枠】募集要項の１－（６）各号に該当する者ではありません。  　平成　　年　　月　　日　 （氏名自署） | | | | | | |
| 保護者同意欄 | （保護者氏名自署）  ※申請者が２０歳以上の場合は記載不要 | | | | | | |

別紙様式２

助成候補者エントリーシート

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　名 |  |
| 住　所 |  |
| 県内の  出身学校  (高校等) | （学校名）  （学科名）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（卒業年月）平成　　　年　　月 |
| 大学等卒業後（就業時)に居住予定の山形県内の市町村又は出身市町村　（　　　　　　　市・町・村） | |
| １　助成対象分野への就業を希望する理由 | |
| （理由） | |
| ２　希望する業種及び職種、就業地域 | |
| （業種）  （職種）  （就業地域） | |
| ３　大学等での主な専攻・研究等の内容 | |
|  | |
| ４　自己アピール等（指定就業先の求める資格・履修科目への対応状況、特技、その他） | |
|  | |

※記入欄の大きさは適宜調整可。ただし、全体でＡ４判１枚以内に収めること

別紙様式３

平成　　年　　月　　日

山形県知事　　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

状況報告書【産業団体等連携枠】

平成２９年度山形県若者定着奨学金返還支援事業【産業団体等連携枠】募集要項の規定に基づき、次のとおり報告します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 変更 |  |  | | | | | |
| 助成候補者 |  | ふりがな  氏名 |  | | | | | |
|  | 生年月日 | 平成　　年　　月　　日 | | | 性別 | | □男　□女 |
|  | 住所 | 〒 | | | | | |
|  | 電話番号 | 自宅 |  | 携帯 | |  | |
|  | ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  | | | | | |
| 保護者  ※申請者が20歳  以上の場合は記載不要 |  | ふりがな  氏名 |  | | | | | |
| 住所 | 〒 | | | | | |
| 電話番号 | 自宅 |  | 携帯 | |  | |
| 就学先  (大学等) |  | 名称 | （学校名)  （学部･学科等）　　　　　　　　　　　　　(学年)　　　年 | | | | | |
| 所在地 | 〒 | | | | | |
| 卒業予定年月 | 平成　　年　　　月 | | | | | |
| 助成対象  奨学金  ※助成対象奨学  　金の変更又は  　助成対象期間  　の延長は不可 |  | 奨学金の名称 |  | | | | | |
| 貸与月額 | 毎月　　　　　　　　円 | | | | | |
| 助成対象期間 | 平成　　年　　月～平成　　年　　月まで　　か月  ※平成29年年4月以降の貸与期間 | | | | | |
| 貸与総額 | 円　※貸与月額×助成対象期間の月数 | | | | | |

・助成候補者の氏名及び住所は必ず記載し、それ以外の項目は、変更のあった項目のみの記載で可

・｢変更」の欄は、変更のあった項目に「○」を記入すること

・変更後の状況を証明する書類（学生証、奨学金の変更通知等）の写しを添付すること

　別紙様式４

平成　　年　　月　　日

山形県知事　　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

在学期間延長承認申請書【産業団体等連携枠】

平成２９年度山形県若者定着奨学金返還支援事業【産業団体等連携枠】募集要項の規定に基づき、進学先大学等を卒業（修了）するまで在学期間を延長したいので、承認くださるよう申請します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 助成候補者 | ふりがな  氏名 |  | | | | | |
| 生年月日 | 平成　　年　　月　　日 | | | 性別 | | □男　□女 |
| 住所 | 〒 | | | | | |
| 電話番号 | 自宅 |  | 携帯 | |  | |
| ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  | | | | | |
| 保護者  ※申請者が20歳  以上の場合は記載不要 | ふりがな  氏名 |  | | | | | |
| 住所 | 〒 | | | | | |
| 電話番号 | 自宅 |  | 携帯 | |  | |  | 携帯 |  |
| 卒業大学等 | 名称 | （学校名)  （学部･学科等） | | | | | |
| 所在地 | 〒 | | | | | |
| 卒業年月 | 平成　　　年　　　月 | | | | | |
| 進学大学等 | 名称 | （学校名)  （学部･学科等） | | | | | |
| 所在地 | 〒 | | | | | |
| 卒業予定年月 | 平成　　　年　　　月 | | | | | |
| 助成対象  奨学金  ※助成候補者認定申請書又は状況報告書（変更があった場合）で記載した内容 | 奨学金の名称 |  | | | | | |
| 貸与月額 | 毎月　　　　　　　　円 | | | | | |
| 助成対象期間 | 平成　　年　　月～平成　　年　　月まで　　か月  ※平成29年4月以降の貸与期間 | | | | | |
| 貸与総額 | 円　※貸与月額×助成対象期間の月数 | | | | | |

　・大学等の卒業証明書及び進学先の在学証明書を添付すること

別紙様式５

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成　　年　　月　　日

山形県知事　　　殿

氏名

就業状況等報告書【産業団体等連携枠】

平成２９年度山形県若者定着奨学金返還支援事業【産業団体等連携枠】募集要項の規定に基づき、次のとおり報告します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 助成候補者 | ふりがな  氏名 | |  | | | | | | | |
| 生年月日 | | 平成　　年　　月　　日 | | | | | 性別 | | □男　□女 |
| 住所 | | 〒 | | | | | | | |
| 電話番号 | | 自宅 | |  | | 携帯 | |  | |
| 就業先 | 就業先  名　称 | | （職種）　　　　　　　　（役職名） | | | | | | | |
| 所在地 | | 〒 | | | | | | | |
| 就業開始年月 | | 平成　　年　　　月 | | | | | | | |
| 主な事業内容 | |  | | | | | | | |
| 助成対象  奨学金  ※助成候補者認定申請書又は状況報告書（変更があった場合）で申告した内容 | 奨学金の名称 | |  | | | | | | | |
| 貸与月額 | | 毎月　　　　　　　　円 | | | | | | | |
| 助成対象期間 | | 平成　　年　　月～平成　　年　　月まで　○か月  ※平成29年4月以降の貸与期間 | | | | | | | |
| 貸与総額 | | 円　※貸与月額×助成対象期間の月数 | | | | | | | |
| 就業分野  （○で囲む） | ア 建設、測量・設計関連分野　　イ ものづくり（製造業）関連分野  ウ ＩＴ、観光、商業・サービス関連分野　　エ 農林水産関連分野  オ 医療・福祉関連分野 　カ その他の分野（具体的な業種：　　　　　　） | | | | | | | | | |
| 指定就業先の選考活動への参加状況  ※指定就業先に就業した方は記入不要 | （参加した場合） | 参加年月日 | | 平成　　年　　月　　日 | | | | | | |
| 指定就業先 | | 事業者名 | |  | | | | |
| 所在地 | | 市・町・村　※主たる事業所の所在市町村 | | | | |
| 選考活動の内容 | |  | | | | | | |
| (不参加の場合)  不参加の理由 | | |  | | | | | | |

【就業開始年度の場合】

・在職証明書（就業先の事業者が発行したもの）、住民票の写し及び助成対象奨学金の返還条件を確認できる書類（貸与奨学金返還確認票等）の写しを添付すること

　【就業２年目及び３年目の場合】

・奨学金の返還状況を確認できる書類（奨学金返還証明書等）の写しを添付すること

・個人事業主として就業した者は、前年の確定申告書の写しを添付すること

別紙様式６

平成　　年　　月　　日

山形県知事　殿

助成候補者

住所　〒

　　　　　　　　　　　　　　　　 　氏名

求職・離職期間延長承認申請書【産業団体等連携枠】

　平成２９年度山形県若者定着奨学金返還支援事業【産業団体等連携枠】募集要項の規定に基づき、求職・離職期間を延長したいので、承認くださるよう申請します。

記

　１　求職・離職期間延長理由

別紙様式７

平成　　年　　月　　日

山形県知事　殿

助成候補者

　住所　〒

　　　　　　　　　　　　　　　　 氏名

認定辞退申請書【産業団体等連携枠】

　平成　　年　　月　　日付け　産政第　　　　号で通知のあった助成候補者の認定について、下記の理由により辞退したいので、申請します。

記

　１　辞退理由